タイトル	中世西大寺流関係文献目録稿
著者	追塩, 千尋
引用	北海学園大学人文論集, 20: 143-179
発行日	2001-11-30

中世西大寺流関係文献目録稿

追 塩 千 尋

はじめに

本稿は中世西大寺流関係の研究文献目録である。西大寺流は狭義には、西大寺に伝わる醍醐寺系密教の一派（菩薩流ともいう）を指す語である。それと区別するため研究者によっては、西大寺派・西大寺教団・叡尊教団、などの語が使用されてもいる。しかしここでは、叡尊・忍性らを中心とした西大寺僧の宗教活動により特色づけられる教団を指す語として使用することとする。

西大寺は764年（天平宝字8）に起こった恵美押勝の乱に対する戦勝祈願のため、孝謙上皇が発願して造営が開始され、十数年を要して完成をみた。奈良時代最後の官寺で、以後南都七大寺の一つとして鎮護国家の役割を果たして行く。創建当初は東大寺に引けを取らない規模を誇ったが、平安期を通じて寺領・伽藍が顛倒し、それらが回復されないまま寺勢は衰えてゆく。1235年（嘉禎元）に叡尊（1201～1290）が入寺し、再興が開始された。叡尊は授戒活動、光明真言会、非人救済などに代表される特色ある宗教活動を展開し、諸階層を広く組織し西大寺教団を確立・発展させた。また、叡尊の高弟忍性は鎌倉極楽寺を拠点として北条氏の外護を受けながら、社会事業などの救済活動に専念し、西大寺流の関東普及に貢献した。

従来、叡尊・忍性らの活動は、鎌倉期における南都仏教の復興運動の一つとして位置付けられ、その活動は戒律復興と慈善救済により特色づけられる、という認識がなされていた。ところが、1970年代以降、叡尊・忍性らの宗教活動の見直しに関する研究が活発化し、その傾向は今日にも継続されている。その過程で叡尊らの宗教活動を特色づける要素として、密教・

諸信仰・戒律・慈善救済・諸寺院の復興に際しての勸進行為、などが指摘され、それらの意義づけの検討が改めて行われた。また、中世寺院史研究隆盛の流れの中で西大寺の寺院組織や末寺などの存在形態への注目、社会史研究隆盛の中での律僧の社会活動や西大寺が組織した石工などの職能集団とその活動、及び身分制研究と結び付いた非人研究、など研究対象がさまざまな方向に広まっていった。

西大寺流研究のキーワードは、叡尊・忍性・西大寺・極楽寺などであるが、それらの検討の観点は狭義の宗教史（含仏教学など）にとどまらず、社会経済史・美術史・政治史・歴史考古学などほぼ歴史の全分野に広がっていったのである。もちろん、研究分野の裾野の拡がりの前提として、1970年代以前の着実な研究の積み重ねがあったからであるが、研究の幅の広がりには目を見張るものがある。それだけに、西大寺流研究においては常に総合的な視野が要求されるようになってきた。

しかし、近年の研究の個別細分化は西大寺流においても例外ではなく、個人が宗教史・社会史・政治史・美術史・考古学の全分野に通暁して西大寺流を論ずることは不可能になっている。そろそろ、これまでの西大寺流研究の成果を振り返り、今後の課題を整理すべき時期に来ているのではないと思われる。本目録はそのための基礎資料を提供するものである。これまで筆者は西大寺流に関する論文をいくつか書いてはきたが、それは宗教史の立場からである。従って、他の分野についてはあまり目配りがなされていない。そのため、この目録は分野により精粗があり、遺漏も多いと思われる。これをたたき台として各位のご教示を得ながら、将来より完成度の高い目録作りに向けて行きたいと思う。

西大寺は真言律宗の総本山として現在も法灯を伝えている。創建以来1200余年の歴史を持つ寺であるが、その研究は美術史的観点を中心とした創建期と叡尊再興期に集中している。他の時期はまだ未解明な所が多いが、叡尊再興以前に関しては石上英一氏による別当・寺領研究（本目録単行本の項、1997年）、南北朝以降は近現代に関して吉井敏幸『近代の西大寺と真言律宗』（1996、西大寺）等により解明が進められていることを付加してお

く。なお、中世西大寺流の研究動向に関しては、拙稿「中世西大寺流研究の回顧と課題」（『戒律文化』創刊号掲載，2002年2月発行予定）で概観したので併せて参照願いたい。

〈凡例及び留意事項〉

- 1，採録時期は2000年末までとしたが，2001年も本稿執筆時の9月までに関しては管見に触れたものは出来るだけ採録するように努めた。
- 2，便宜的に単行本・雑誌特集，論文，史料（含報告書などの資料）の三つに分けた。
- 3，単行本・雑誌特集に関しては収録関係論文を列挙し，初出年が明記されているものはその年次を示した。しかし，再構成された論文などは初出年を記載していないので，原論文との関係は各位確認されたい。
- 4，次の分野の関係文献は希薄と思われるので，そのことを了承の上，遺漏のご教示を願いたい。
 - (1) 県史・市町村史関係書の西大寺流への関説部分及び収録史料（本目録では煩瑣になることを避けるため，ごく僅かだけ掲載した）。
 - (2) 仏教学・美術史学・考古学・社会史分野の西大寺流関係文献。

なお，美術関係は『仏教芸術』62号，奈良六大寺大観『西大寺』（近々補訂版予定）掲載の文献目録を参照されたい。
- 5，叡尊・忍性らの活動は従来のいきさつもあり，社会事業・社会福祉史関係書で語られることが多い。また，身分制研究の進展により，部落史関係書でも取り上げられている。叡尊・忍性に関説している社会事業・部落史関係の論稿はここに上げたものをはるかに上回るであろう。ここでは彼らに関して専論性の高いものに限ったことを了承されたい。

1，単行本・雑誌特集

東京美術学校編 『西大寺大鏡』10・12 南都七大寺大鏡発行所 1922～28

- 橋川 正 『日本仏教文化史の研究』 中外出版 1924
 「興正菩薩叡尊の自叙伝について」(1922)
 「忍性菩薩良観年譜」(1923)
- 橋川 正 『日本仏教と社会事業』 丙午出版社(1996年復刊, 日本図書センター) 1925
 第3章3 「叡尊(思円)」
 第3章4 「忍性(良観)」
- 金田元成 『興正菩薩』真言律宗総本山西大寺内宗祖六百五十年御遠忌大法会事務局 1933
- 東京美術学校編 『西大寺大鏡』1・2・3 大塚巧芸社 1933~34
- 浅野研真 『日本仏教社会事業史』 凡人社(1996年復刊, 日本図書センター) 1934
 第4章第6節 「社会事業家としての興正菩薩叡尊」
 第4章第7節 「社会事業家としての忍性菩薩良観」
- 辻善之助 『興正菩薩と忍性菩薩の事蹟』 日本赤十字社 1935
 同氏著 『日本文化史』別録3収録(春秋社, 1953)
- 辻善之助 『日本文化と仏教』 大日本図書 1937(同氏著 『日本仏教史研究』第6巻所収, 岩波書店, 1984年)
 第8章 「仏教と社会事業」
- 川勝政太郎 『大和の石造美術』 天理時報社 1942
- 西村 貞 『奈良の石仏』 全国書房 1943
 「般若寺十三重石塔四方仏と笠卒塔婆」
- 辻善之助 『日本仏教史』中世編1 岩波書店 1947
 第7章第4節 「旧仏教の復興」
 同 第5節 「僧侶の社会事業」
- 鎌倉市史編纂委員会編 『鎌倉市史』社寺編 吉川弘文館 1959
- 和島芳男 『叡尊・忍性』 吉川弘文館 1959
- 小林 剛 『西大寺の文化』 西大寺 1961
- 鎌倉市教育委員会編 『極楽律寺展: 忍性とその周辺』 鎌倉国宝館 1962

- 石田瑞麿 『日本仏教における戒律の研究』 在家仏教協会 1963（仏教書
林中山書房再刊，1976，同氏著『日本仏教思想史研究』1に収録，法蔵
館，1986）
- 櫛田良洪 『真言密教成立過程の研究』 山喜房仏書林 1963
第2編第1章「光明真言信仰の勃興」
第2編第6章「関東に於ける東密の展開」
- 服部敏良 『鎌倉時代医学史の研究』 吉川弘文館 1964
- 長谷川誠 『西大寺』〈美術文化シリーズ〉 中央公論美術出版 1965
- 守山聖真 『立川邪教とその社会的背景の研究』 鹿野苑 1965（国書刊行会
復刻，1990）
- 大岡 実 『南都七大寺の研究』 中央公論美術出版 1966
- 『仏教芸術』62号「特集西大寺の美術」 毎日新聞社 1966
「西大寺の創建」（福山敏男）
「西大寺東西両塔跡の発掘」（浅野 清）
「西大寺の仏教」（辻村泰円）
「西大寺における「律家」と「寺僧」——文和三年『西大寺白衣寺僧沙汰
引付』をめぐって——」（田中 稔）
同氏著『中世史料論考』に収録（吉川弘文館，1993）
「西大寺創建当初の美術」（佐和隆研）
「西大寺における興正菩薩叡尊の事蹟」（小林 剛）*
「西大寺の建造物」（鈴木 充）
「叡尊をめぐる西大寺の仏像」（長谷川誠）*
「西大寺叡尊の造像活動における仏画について」（平田 寛）*
同氏著『絵仏師の時代』（1994）『絵仏師の作品』（1997，共に中央公論
美術出版）に分割収録
「西大寺の金工品」（岡崎讓治）
「西大寺行事とその周辺」（青山 茂）
「西大寺流記資財帳」（岩本次郎）
「西大寺略年表」（小林 剛編）

- 「西大寺関係美術文献目録」(岩本次郎編)
- ※の論文は中尾堯・今井雅晴編『重源・叡尊・忍性(日本名僧論集第5)』
(1983, 吉川弘文館)に収録
- 三山 進 『極楽寺』〈美術文化シリーズ〉中央公論美術出版 1966
- 箱根町誌編纂委員会編『箱根町誌』第1巻 角川書店 1967
- 徳田明本 『律宗概論』 百華苑 1969
- 守屋 茂 『仏教社会事業の研究』 法蔵館 1971
- 興正菩薩叡尊(第2章第7節), 忍性菩薩良観(第2章第8節)
- 全国公衆浴場環境衛生同業組合連合会『公衆浴場史』編纂委員会編『公衆
浴場史』 同会発行 1972
- 第3章1「沐浴の恩人・重源と忍性」
- 奈良六大寺大観第14巻『西大寺』 岩波書店 1973
- 山田昭全・三木紀人校注『雑談集〈中世の文学〉』解説(三木担当部分) 三
弥生書店 1973
- 網野善彦 『蒙古襲来(日本の歴史10)』 小学館 1974
- 太田古朴 『摺仏印仏』 綜芸舎 1974
- 岡田 譲・永野太造 『西大寺〈舍利塔・十二天〉』 岩波書店 1974
- 徳田明本 『律宗文献目録』 百華苑 1974
- 黒田俊雄 『日本中世の国家と宗教』 岩波書店 1975
- 「中世の身分制と卑賤観念」(1972, 同氏著作集第5巻所収, 法蔵館, 1995)
- 「中世における顕密体制の展開」(新稿, 同氏著作集第2巻所収, 法蔵館,
1994)
- 横井 清 『中世民衆の生活文化』 東京大学出版会 1975
- 「中世における卑賤観の展開とその条件」(1962)
- 「中世の触穢思想」(1968)
- 「中世民衆史における「癩者」と「不具」の問題」(1974)
- 上田天瑞 『戒律の思想と歴史』 密教文化研究所 1976
- 大和古寺大観 全7巻 岩波書店 1976~78
- 宮川量遺稿集『飛驒に生まれて』 名和千嘉子 1977

- 「救癩施設西山光明院に就いて」（1935）
- 「鎌倉時代に於ける癩救済者忍性律師の研究」（1936）
- 網野善彦 『無縁・公界・楽』 平凡社 1978（増補1987）
- 安藤直太郎 『説話と俳諧の研究』 笠間書院 1979
- 「無住の長母寺入山の経緯と夢想譚」（1971, 1973年補訂・1978年加筆）
- 梅原 猛・松本実道 『西大寺（古寺巡礼奈良）』 淡交社 1979
- 太田博太郎 『南都七大寺の歴史と年表』 岩波書店 1979
- 杉浦明平・工藤良任 『般若寺（古都巡礼奈良）』 淡交社 1979
- 赤星直忠 『中世考古学の研究』 有隣堂 1980
- 黒田俊雄 『寺社勢力』 岩波書店 1980
- 田中久夫 『鎌倉仏教』 教育社 1980
- 貫 達人・川副武胤 『鎌倉廃寺事典』 有隣堂 1980
- 林 幹弥 『太子信仰の研究』 吉川弘文館 1980
- 第3部第3章「律僧らと太子堂」
- 平岡定海編 『日本仏教基礎講座』 1「奈良仏教」 雄山閣 1980
- 谷口光明 「真言律宗・西大寺」
- 堀池春峰 『南都仏教史の研究』 上下 法蔵館 1980・82
- 上巻「家原寺蔵 行基菩薩縁起図」（1962）
- 下巻「南都仏教と文殊信仰」（1969）
- 下巻「叡尊書写の神泉苑について」（1966）
- 石尾芳久 『民衆運動からみた中世の非人』 三一書房 1981
- 高木 豊 『鎌倉仏教史研究』 岩波書店 1982
- 「鎌倉仏教にみる変革と伝統」（1976）
- 納富常天 『金沢文庫資料の研究』 法蔵館 1982
- 「東国仏教における出版文化」（1975）
- 「称名寺の基礎的研究」（1975）
- 「湛睿の基礎的研究」（1970）
- 伊藤延男編 『西大寺と奈良の古寺〈日本古寺美術全集6〉』 集英社 1983
- 平田 寛 「戒律復興期の造像と叡尊」（同氏著『絵仏師の作品』所収, 1997,

- 中央公論美術出版)
- 大三輪龍彦編 『中世鎌倉の発掘』 有隣堂 1983
 石井 進・大三輪龍彦 「極楽寺と鶴岡八幡宮 — 伽藍と社殿 —」
- 中尾 堯・今井雅晴編 『重源・叡尊・忍性 (日本名僧論集第5)』 吉川弘
 文館 1983
 「叡尊の戒律について」(石田瑞麿, 1972)
 「西大寺叡尊の東国下向」(吉田文夫, 1962)
 「西大寺叡尊の造像活動における仏画について」(平田 寛, 1966)
 「西大寺における興正菩薩叡尊の事蹟」(小林 剛, 1966)
 「叡尊をめぐる西大寺の仏像」(長谷川誠, 1966)
 「叡尊と四天王寺 — 御手印縁起信仰の展開 —」(川岸宏教, 1965)
 「忍性菩薩伝 — 中世における戒律復興の史的研究 —」(和島芳男,
 1953)
 「忍性と四天王寺 — 御手印縁起信仰の展開 —」(川岸宏教, 1966)
 「忍性の社会事業について」(吉田文夫, 1969)
- 小笠原長和 『中世房総の政治と文化』 吉川弘文館 1985
 「武州金沢称名寺と房総の諸寺」(1956)
 「下総千葉氏と称名寺僧」(1964)
- 上行寺東遺跡を考える会編 『中世の六浦と上行寺東遺跡』 I・II 上行寺
 東遺跡を考える会 1985
- 新村 拓 『日本医療社会史の研究』 法政大学出版社 1985
 第1章 「悲田院と施薬院」(1976)
- 奈良市史編纂委員会編 『奈良市史』 社寺編 吉川弘文館 1985
- 網野善彦 『異形の王権』 平凡社 1986
- 石田瑞麿 『日本仏教思想研究』 2 法蔵館 1986
 「叡尊の戒律について」(1972)
- 茨城県史編集委員会編 『茨城県史』 中世編 茨城県 1986
 菊地勇次郎 第7章第2節 「佐久山方と醍醐寺末の真言宗」
 千々和到 第8章第1節 「板碑と石塔」

- 奈良国立博物館編 『大和額安寺・鎌倉極楽寺五輪塔の納入品：鎌倉時代の
高僧・忍性菩薩をしのぶ』 奈良国立博物館 1986
- 丹生谷哲一 『検非違使』 平凡社 1986
- 「非人施行と公武政権」（1979）
- 河野勝行 『障害者の中世』 文理閣 1987
- 納富常天 『鎌倉の仏教』 かまくら春秋社 1987
- 細川涼一 『中世の律宗寺院と民衆』 吉川弘文館 1987
- 「中世唐招提寺の律僧と齋戒衆——中世律宗寺院における勧進・葬祭組織
の成立——」（1980）
- 「中世大和における律宗寺院の復興——竹林寺・般若寺・喜光寺を中心に
——」（1981）
- 「河内の西大寺末寺惣持」（1987）
- 「鎌倉時代の尼と尼寺——中宮寺・法華寺・道明寺——」（新稿）
- 「法金剛院導御の宗教活動」（1984）
- 金子啓明 『西大寺（日本の古寺美術10）』 保育社 1987
- 宮崎円遵 『中世仏教と庶民生活〈著作集第三〉』 思文閣出版 1987
- 「文殊信仰と利生事業」（1939）
- 「鎌倉時代仏教徒の護国運動——主として西大寺叡尊について——」
（1940）
- 「鎌倉時代南都の戒律復興」（1950）
- 神栖町史編さん委員会編 『神栖町史』 上巻 神栖町 1988
- 細川涼一 「鹿島地方の親鸞と忍性」
- 佐々木馨 『中世国家の宗教構造——体制仏教と体制外仏教の相剋——』
吉川弘文館 1988
- 新修大阪市史編纂委員会編 『新修大阪市史』 第2巻 大阪市 1988
- 上田さち子：第2章第4節の3 「南都仏教の波及」
第2章第4節の4 「叡尊・忍性と四天王寺」
- 松尾剛次 『鎌倉新仏教の成立』 吉川弘文館 1988（新版1998）
- 石井 進・大三輪龍彦編 『武士の都鎌倉〈よみがえる中世3〉』 平凡社

- 1989
- 永村 眞 『中世東大寺の組織と経営』 塙書房 1989
 「東大寺大勧進職と禅律僧」(1981)→2章第1節の1～3, 第3章第1節の3
- 細川涼一 『女の中世』 日本エディタースクール出版部 1989
 「中世の捨子と女性」(1988)
 「王権と尼寺」(1988)
 「中世における尼寺の展開」(1988)
 「阿仏尼伝の一節——律宗との関係をめぐって——」(1988)
 「導御・嵯峨清凉寺融通大念仏会・「百万」」(1986)
- 中尾良蔵 『竹林寺の歴史』(私家版) 1990年(1998年 増補版)
- 内山純子 『東国における仏教諸宗派の展開』 そしえて(1986年私家版の増補版) 1990
- 奈良国立博物館編 『興正菩薩七百年遠忌記念 奈良西大寺展』 1990
- 大森順雄 『覚園寺と鎌倉律宗の研究』 有隣堂 1991
 「中世興律運動の系譜」(1970～1975)
 「鎌倉律宗小史」(1980)
- 『仏教芸術』199号「特集叡尊と西大寺派美術」 毎日新聞社 1991
 「叡尊の信仰と美術」(濱田 隆)
 「九州西大寺末寺とその遺産」(八尋和泉)
 「東国の叡尊と文化遺産」(前田元重)
 「南都における中世舍利荘厳具の展開(一)」(関根俊一)
 「西大寺の中世染織遺品について」(松本 彩)
 「大和郡山・良福寺文殊菩薩騎獅像と像内納入の文殊菩薩印仏について」(鈴木喜博)
 「大分・金剛宝戒寺大日如来と仏師康俊」(田辺三郎助)
- 『古美術』66号「特集西大寺の彫刻・工芸・絵画」 三彩社 1991
 「西大寺叡尊と真言律の美術」(松浦正昭)
 「西大寺の工芸品」(関根俊一)

- 「西大寺の絵画」（梶谷亮治）
- 奈良県史編集委員会編 『奈良県史』 6 「寺院」（岩城隆利・大矢良哲） 名
著出版 1991
- 貫 達人・石井 進編 『鎌倉の仏教』 有隣堂 1992
- 真壁町歴史民俗資料館編 『筑波山麓の仏教——その中世的世界——』 真
壁町歴史民俗資料館 1993
- 松尾剛次 『中世都市鎌倉の風景』 吉川弘文館 1993
- 宮城洋一郎 『日本仏教救済事業史研究』 永田文昌堂 1993
- 「叡尊の文殊信仰について」（1988）
- 「叡尊の「非人」救済について」（1988）
- 「叡尊の戒律復興とその実践について」（1989）
- 「中世の四天王寺と叡尊・忍性」（新稿）
- * 同氏著『密教の社会的実践に関する研究』（永田文昌堂，1993）にも収
録
- 森 章司編 『戒律の世界』 北辰堂 1993
- 上田霊城 「鎌倉仏教における戒律の宗派化」（1975） * 宮坂宥勝編『密
教大系』第七卷（1995年，法蔵館）にも収録
- 和島芳男 「叡尊と忍性——中世戒律復興運動の二形態——」（1974）
- 上田天瑞 「真言律と其の系統」（1939）
- 網野善彦 『中世の非人と遊女』 明石書店 1994
- 「中世身分制の一考察——中世前期の非人を中心に——」（1979）
- 鎌倉考古学研究所編『中世都市鎌倉を掘る』 日本エディタースクール出版
部 1994
- 奈良市史編集審議会編『奈良市史』通史2 吉川弘文館 1994
- 大石雅章 第4章第1節「教学・法会の復興」
- 細川涼一 『中世の身分制と非人』 日本エディタースクール出版部 1994
- 「中世前期の非人について」（1980）
- 「非人宿の分化」（1982）
- 「中世の身分制と非人」（1983）

- 「叡尊・忍性の慈善救済——非人救済を中心に——」(1979)
「仏日房寂入と増福寺寂心——叡尊の清水坂における非人施行の周辺——」(1990)
- 追塩千尋 『中世の南都仏教』 吉川弘文館 1995
「西大寺の変遷と叡尊」(1976)
「初期叡尊の宗教的環境」(1987)
「叡尊における密教の意義」(1976)
「叡尊における鬪と教団規律」(1985)
「叡尊の諸信仰と慈善救済事業」(1978)
「叡尊の東国下向」(1989)
「忍性の宗教活動」(1980)
- 納富常天 『金沢文庫資料の研究 稀観資料編』 法蔵館 1995
「鎌倉における旧仏教」(1981)
「泉州久米多寺について」(1970)
「東山太子堂白毫寺と忍性供養塔」(1988)
「花蔵院流印信——真言僧忍性——」(1988)
- 松尾剛次 『勸進と破戒の中世史』 吉川弘文館 1995
「勸進の体制化と中世律僧——鎌倉後期から南北朝期を中心に——」(1982)
「説教節「さんせう太夫」と勸進興行」(1994)
「室町幕府の禅・律対策——禅律方の考察を中心に——」(1981)
「常陸三村寺結界石と称名寺結界絵図——結界の作法——」(1992)
「西大寺末寺帳考——中世の末寺帳を中心に——」(1992)
「官僧と遁世僧——鎌倉新仏教の成立と日本授戒制——」(1985)
「尼への授戒——法華寺尼戒壇の成立——」(新稿)
- 松尾剛次 『鎌倉新仏教の誕生——勸進・穢れ・破戒の中世——』 講談社 1995
- 追塩千尋 『国分寺の中世的展開』 吉川弘文館 1996
「中世国分寺の再興と西大寺流」(1993)

- 「中世後期国分寺の実態」（1987）
- 松尾剛次 『救済の思想』 角川書店 1996
- 石上英一 『古代荘園史料の基礎的研究』 上下 塙書房 1997
- 下巻第3編第1章「西大寺荘園絵図群の研究」
- 井上 薫編 『行基事典』 国書刊行会 1997
- 佐々木馨 『中世仏教と鎌倉幕府』 吉川弘文館 1997
- 土浦市立博物館編 『中世の霞ヶ関と律宗』〈土浦市立博物館第18回特別展
図録〉 土浦市立博物館 1997
- 羽曳野市史編纂委員会編 『羽曳野市史』 第1巻本文編1 羽曳野市 1997
- 大石雅章 第2章第3節「西大寺流律宗と西琳寺」
- 福島金治 『金沢北条氏と称名寺』 吉川弘文館 1997
- 第2章「金沢北条氏と称名寺の組織と編成」
- 「武蔵国久良岐郡六浦荘について」（1981）
- 「鎌倉北条氏と浄土宗——律宗以前の金沢称名寺をめぐって——」
（1993）
- 「金沢称名寺の寺院組織」（新稿）
- 「金沢称名寺の年中行事」（1993）
- 第3章「金沢北条氏・称名寺と鎌倉極楽寺」
- 「鎌倉極楽寺の唐船派遣について」（1991）
- 「鎌倉幕府滅亡期の極楽寺——全海紙背文書の検討——」（新稿）
- 「鎌倉極楽寺真言院長老禅意とその教学」（1995）
- 「印信よりみた中世東国の暦」（1995）
- 「法性寺如意輪観音坐像の像内納入文書について」（1995）
- 細川涼一 『中世寺院の風景』 新曜社 1997
- 「中世の尼と尼寺——建礼門院とその女房を中心に——」（1993）
- 「鎌倉仏教の勧進活動——律宗の勧進活動を中心に——」（1988）
- 「源実朝室本覚尼と遍照心院」（1994）
- 「中世大安寺の年中行事」（1994）
- 「延方普門院の船越地藏と忍性」（1994）

- 細川涼一 『死と境界の中世史』 洋泉社 1997
「上行寺東やぐら群は浄願寺跡か」(1985)
「上行寺東やぐら群遺跡——中世寺院研究史上の重要遺跡——」(1985)
「忍性と六浦・江ノ島——上行寺東遺跡の周辺——」(1986)
「上行寺について」(1986)
- 松尾剛次 『中世都市鎌倉を歩く』 中央公論社 1997
- 大戸安弘 『日本中世教育史の研究——遊歴傾向の展開——』 梓出版社 1998
「教育史上の叡尊——非人救済活動を通して見た——」(1992)
「教育史上の忍性——中世都市鎌倉における社会事業との関わりから——」(新稿)
- 週刊朝日百科『日本の国宝』58 奈良／元興寺・元興寺(極楽坊)・新薬師寺・十輪院・円成寺・般若寺 朝日新聞社 1998
- 週刊朝日百科『日本の国宝』59 奈良／西大寺・法華寺・海龍王寺・秋篠寺 朝日新聞社 1998
西山 厚「叡尊の復興事業」「叡尊の書状を読む」
- 松尾剛次 『中世の都市と非人』 法蔵館 1998
第2部 寺社の都・奈良と中世非人
「中世非人に関する一考察——西大寺流による非人支配——」(1980)
「天皇支配権と中世非人支配」(1981)
「開発と中世非人——日根野村絵図をめぐる——」(1982)
- 馬淵和雄 『鎌倉大仏の中世史』 新人物往来社 1998
- 小島憲之 『中世説話集の形成』 若草書房 1999
「無住の生涯と著述活動」
「無住と医術」
- 藁輪顕量 『中世初期南都戒律復興の研究』 法蔵館 1999
「夢と好相と懺悔」
「叡尊門侶集団における構成員の階層——近事・近住と形同・法同沙弥——」

- 「叡尊門侶集団における菩薩戒の授受 — 西大寺蔵『授菩薩戒用意聞書』
と『授菩薩戒作法』を中心に —」
- 「覚盛と叡尊の犯戒意識の相違」
- 「叡尊の思想と八斎戒とその信仰」
- 資料翻刻 叡尊門侶集団『授菩薩戒用意聞書』『授菩薩戒作法』
- 大和郡山市教育委員会編 『叡尊 — ふるさと郡山が生んだ傑僧 —』 大
和郡山市教育委員会 1999
- 上田純一 『九州中世禅宗史の研究』 文献出版 2000
- シンポジウム「叡尊・忍性と律宗系集団」実行委員会編 『叡尊・忍性と律
宗系集団』 2000
- 水野正好 「叡尊・忍性の考古学」
- 細川涼一 「覚如と定舜 — 叡尊弟子の入宋僧 —」
- 藤澤典彦 「律と石」
- 鈴木喜博 「叡尊と善派仏師 善円から善慶へ」
- 今尾文昭 「叡尊、忍性・律宗系集団と大和の遺跡」
- 近江俊秀 「土器からみた中世大和」
- 桃崎祐輔 「忍性の東国布教と叡尊諸大弟子の活動」
- 佐藤亜聖 「律宗集団と耕地開発」
- 山川 均 「西大寺律宗と開発」
- 討論
- 朝日新聞社編 『国宝と歴史の旅』12「中世瀬戸内の寺と社会」 朝日新聞
社 2001
- 中尾 堯 『中世の勸進聖と舍利信仰』 吉川弘文館 2001
- 「叡尊にみる生身仏の信仰」（1993）
- 「備州における律僧の勸進活動」（1976）
- 「叡尊にみる「聖朝」と「関東」の観念」（1978）
- 安田次郎 『中世の興福寺と大和』 山川出版社 2001
- 「勸進の体制化と『百姓』」（1983）
- 湯之上隆 『日本中世の政治権力と仏教』 思文閣出版 2001

「関東祈祷寺の成立と分布」(1978)

「関東祈祷寺の展開と歴史的背景」(1977)

〈小説類・その他〉

山岡 明 『物語馬のいる風景』 新人物往来社	1989
「極楽寺坂切通坂下馬病屋 — 良観房忍性」	
寺林 峻 『泥まみれの微笑 — 叡尊と忍性 —』 ノンブル社	1991
森下 等 『愛の聖僧叡尊』 奈良日日新聞社	1991
寺林 峻 『救済の人 — 小説・忍性 —』 東洋経済新報社	1998
秋月水虎 『極楽寺忍性』 叢文社	1999

2, 論文 (上記単著収録論文は除く)

坂井義三郎 「良観上人略行記」『無尽燈』7-12	1902
藤田 明 「西大寺と秋篠寺との争に就きて」『歴史地理』8-1	1906
濱田 廉 「叡尊長老と鎌倉武士」『和融誌』16-8.9	1912
中野義照 「現代と興正菩薩」『六大新報』520・524~527・530・531・533	1913
鷲尾順敬 「関東往還記及びその著者」『歴史地理』32-1	1918
藤掛静也 「文観僧正と八字文殊師利菩薩図」『国華』352	1919
野村清風 「聖徳太子と興正菩薩」『密宗学報』174	1928
金田元成 「興正菩薩と南禅寺の妖怪に就いて」『密宗学報』226	1933
川勝政太郎 「興正菩薩佐山の遺跡」『史迹と美術』89	1938
川勝政太郎 「西大寺奥院の廟塔」『史迹と美術』100	1939
川勝政太郎 「興正菩薩と浮島大石」『史迹と美術』107	1939
川勝政太郎 「伊行末系の石大工に就いて」『史迹と美術』109	1939
田村吉水 「興正菩薩の出生地たる箕田里敬田院の所在地に就いて」『大和志』6-10	1939
高橋梵仙 「興正菩薩叡尊の利濟福田事業」同氏著『日本慈善救済史之研	

- 究』第三分冊所収 社会事業研究所，1940（1997年合冊復刻，日本図書センター）
- 「忍性菩薩良観の慈善救済事業」 同上 1940
- 橋本凝胤 「興正菩薩と国民精神」『大和志』7-4 1940
- 川勝政太郎 「南都般若寺再興の願主上人」『史迹と美術』131 1941
- 川瀬一馬 「興正菩薩が伏敵祈願の護国經典開版に就いて」『大和志』9-3 1942
- 黒田昇義 「史蹟北山十八間戸の舊址」『大和志』9-12 1942
- 橋本凝胤 「興正菩薩と宋槩経につきて」積翠先生華寿記念会編『積翠先生華寿記念論纂』所収，積翠先生華寿記念会編刊 1942
- 米山徳馬 「西大寺四王堂安置の十一面観音像の造立年代」『史迹と美術』141 1942
- 橋本凝胤 「鎌倉時代の仏教——特に叡尊を中心として——」『大和志』10-4 1943
- 川勝政太郎 「般若寺笠塔婆小論」仲川明・森川辰蔵編『野村伝七・高田十郎還暦記念 奈良叢記』所収，駸々堂書店 1943
- 小沢栄一 「神と国家と日本仏法に関する一章——興正菩薩と宏覚禅師——」『史潮』41 1944
- 太田古朴 「西大寺文殊菩薩像」『史迹と美術』185 1948
- 大橋俊雄 「西大寺叡尊と茶」『茶道雑誌』14-11 1949
- 中村 元 「悩める人々への奉仕——忍性の社会事業——」上下『日本歴史』20・21 1949
同氏著『日本宗教の近代性〈中村元選集第8巻〉』所収（春秋社，1964）
- 大橋俊雄 「鎌倉多宝寺と忍性とに就いて」『史迹と美術』209 1951
- 田村吉永 「西大寺石塔院地藏像と胎内遺物」『史迹と美術』211 1951
- 毛利 久 「西大寺叡尊坐像に関する一資料」『史迹と美術』211 1951
- 船越康寿 「金沢称名寺々領の研究」『横浜市立大学紀要』9・10 1952
- 川勝政太郎 「宋人石匠伊行末の作品——新発見資料を中心として——」

- 『史迹と美術』 257 1955
- 長井真琴 「鎌倉極楽寺の忍性菩薩の救癩事蹟に就いて」『大世界』
10-7 1955
- 西村 貞 「鎌倉期の宋人石工とその石彫遺品について」堀池春峰編
『重源上人の研究』所収, 南都仏教研究会 1955
- 太田古朴 「仮称西大寺木所仏師の研究」『史迹と美術』 261 1956
- 小林 剛 「西大寺叡尊像について」『仏教芸術』 28 1956
- 成田貞寛 「思円上人の太子観」『仏教論叢』 5 1956
- 石原 明 「忍性の遺跡北山十八間戸を訪ねて」『金沢文庫研究』 30
1957
- 成田貞寛 「西大寺興正菩薩御入滅記について」『印度学仏教学研究』5-2
1957
- 小林 剛 「仏師善円・善慶・善春」『仏教芸術』 31 1957
- 熊原政男 「叡尊と鎌倉の女性」『金沢文庫研究』 37 1958
- 高井悌三郎 「常陸小田三村山結界石」『史迹と美術』 283 1958
- 近藤喜博 「伊勢神宮御正躰並厨子——叡尊の伊勢参宮と蒙古調伏の祈
りに関連して——」『神道史研究』 7-1 1959
萩原龍夫編『伊勢信仰 I 〈民衆宗教史叢書1〉』所収(1985,
雄山閣出版)
- 吉田文夫 「忍性の思想とその教学(上下)」『日本仏教』 4・6 1959
- 和島芳男 「叡尊の釈迦堂について」『金沢文庫研究』 43 1959
- 和島芳男 「大円寺釈迦像の原所在について——叡尊釈迦堂再論——」
『金沢文庫研究』 50 1959
- 和島芳男 「神崎遊女と兵庫遊女——中世救済仏教の二形態——」『兵庫
史学』 21 1959
- 和島芳男 「叡尊と忍性」『日本歴史』 128 1959
- 桃 裕行 「極楽寺多宝塔供養願文と極楽寺版瑜伽戒本(上下)」『金沢文
庫研究』 6-10・11 1960
同氏著作集第3巻『武家家訓の研究』収録(思文閣出版, 1988)

- 木下秀一郎 「鎌倉極楽寺における忍性の救癩事業」『神奈川史談』 2
1961
- 高井悌三郎 「常陸東城寺・般若寺結界石」『史迹と美術』 317 1961
- 和島芳男 「般若寺大石塔造立秘考——叡尊撰「般若寺文殊縁起」に拠り
て——」『日本歴史』 159 1961
- 小林 剛 「西大寺の大黒天像」『大和文化研究』 7-1 1962
- 小林 剛 「道明寺の叡尊像」『大和文化研究』 7-3 1962
- 小林 剛 「興正菩薩叡尊の文殊信仰とその造像」『大和文化研究』 7-5
1962
- 杉山二郎 「般若寺文殊菩薩像について」『ミュージアム』 133 1962
- 高井悌三郎 「常陸三村山湯地藏石龕」『史迹と美術』 323 1962
- 成田貞寛 「叡尊の僧宝建立の精神」『仏教論叢』 9 1962
- 納富常天 「叡尊の鎌倉行化について」『印度学仏教学研究』 10-1 1962
- 長谷川誠 「西大寺奥院地藏菩薩像」『大和文化研究』 7-5 1962
- 吉田文夫 「西大寺叡尊の東国下向」『駿台史学』 12 1962
- 成田貞寛 「鎌倉期南都諸師の釈迦如来観と利生事業」『仏教大学研究紀
要』 44・45 合併号 1963
- 三木紀人 「無住伝についての一考察」『中世文学のジャンル』 4 1963
- 和島芳男 「叡尊没後の忍性——新資料河内延命寺文書によりて——」
『金沢文庫研究』 95 1963
- 成田貞寛 「鎌倉期南都諸師の太子観——叡尊の場合——」『印度学仏教
学研究』 12-2 1964
- 貫 達人 「極楽寺と忍性について」『金沢文庫研究』 10-10・11 1964
- 長谷川誠 「西大寺本堂弥勒菩薩坐像——叡尊三十三回忌追善像——」
『大和文化研究』 9-4 1964
- 長谷川誠 「西大寺彫刻調査概要」『奈良国立文化財研究所年報』 1964
1964
- 藤沢 晋 「十四世紀の成羽川水運開発開発記念碑『笠神文字岩』につい
て」『岡山大学教育学部研究集録』 18 1964

- 永島福太郎 「西大寺の大茶盛」『大和文化研究』9-10 1964
- 松野純孝 「鎌倉仏教と慈善救済」 結城教授頌寿記念論文集刊行会編
『結城教授頌寿記念仏教思想史論集』所収, 大蔵出版 1964
- 猪川和子 「関東の清涼寺式釈迦如来像」『美術研究』237 1965
- 杉山二郎 「聖徳太子信仰とその造像」『仏教史学』12-1 1965
同氏著『日本彫刻史研究法』所収(東京美術, 1991)
蒲池勢至編『太子信仰<民衆宗教史叢書32>』所収(雄山閣出版, 1999)
- 杉山二郎 「叡尊」『国文学』解釈と鑑賞「鑑賞・奈良」 1965
- 永島福太郎 「栄西禪師と南都の茶」『南都仏教』16 1965
- 木村 博 「興正菩薩叡尊(思円上人)の聖徳太子信仰」『聖徳』29 1966
- 小林 剛 「般若寺の鎌倉再興について」『大和文化研究』11-3 1966
- 徳田明本 「南山律宗としての西大寺派について」『南都仏教』18 1966
- 石田善人 「旧仏教の中世的展開」 赤松俊秀監修『日本仏教史』II所収,
法蔵館 1967
同氏著『中世村落と仏教』所収(思文閣出版, 1996)
- 木村 博 「中世における密教文化」『歴史教育』168 1967
- 大三輪龍彦 「鎌倉地方の『やぐら』発生に関する諸問題」『物質文化』11 1968
- 河合正治 「西大寺流律宗の伝播」『金沢文庫研究』14-7 1968
- 永井規男 「十三世紀後半における南都興律とその建築活動——新和様
建築の形成に関する試論——」『仏教芸術』68 1968
- 平田 寛 「戒律復興期における南都の祖師画について」『仏教芸術』
68 1968
同氏著『絵仏師の作品』所収(1994, 中央公論美術出版)
- 奥野義雄 「中世庶民層の実態といわゆる庶民信仰についての再検討」
『大和文化研究』14-5 1969
- 久保田収 「叡尊と両部神道」『芸林』20-4 1969

- 同氏著『神道史の研究』所収（皇学館大学出版部，1973）
- 永島福太郎 「中世律僧の活動」『日本歴史』248 1969
- 納富常天 「旧仏教における復古思想」 日本仏教学会編『鎌倉仏教形成の問題点』所収，平楽寺書店 1969
- 平田 寛 「興正菩薩叡尊の画像」『大和文化研究』14-12 1969
同氏著『絵仏師の作品』所収（1997，中央公論美術出版）
- 吉田文夫 「忍性の社会事業について」 笠原一男編『日本における社会と宗教』所収，吉川弘文館 1969
中尾堯・今井雅晴編『重源・叡尊・忍性（日本名僧論集第5）』所収（1983，吉川弘文館）
- 早瀬保太郎 「伊賀国における西大寺末寺」『大和文化研究』15-2 1970
- 和島芳男 「晩年の忍性と西大寺」『南都仏教』24 1970
- 井上光貞 「叡尊・忍性と西大寺教団（著者原題：Eizon, Ninsho and the Saidai-ji Order）」『ACTA ASIATICA』20 1971
同氏著作集第九卷所収（岩波書店，1985）
- 高橋富士彦 「八字文殊像について」『ミュージアム』239 1971
- 平田 寛 「忍性菩薩像・審海上人像・伝湛睿和尚像」金沢文庫『金沢文庫図録』絵画編 1971
同氏著『絵仏師の作品』所収（1997，中央公論美術出版）
- 和島芳男 「西大寺と東山太子堂および祇園社との関係」『日本歴史』278 1971
- 徳田明本 「俊苧律師と南京律について」 石田充之編『鎌倉仏教の成立の研究 俊苧律師』所収，法蔵館 1972
- 前田元重 「箱根宝篋印塔と大工前大和権守大蔵康氏——称名寺三重塔建立との関連において——」『金沢文庫研究紀要』9 1972
- 吉田文夫 「南都仏教の復興」 中村元他監修『アジア仏教史・日本編』V所収，佼成出版社 1972
- 和島芳男 「常陸三村寺と忍性」『金沢文庫研究』18-7 1972
- 和島芳男 「河内西琳寺と忍性」『大手前女子大学論集』6 1972

- 上田さち子 「西大寺叡尊伝の問題点」大阪府立大学『社会科学論集』4・5合併号 1973
- 倉田文作 「叡尊をめぐる仏師たち」『奈良六大寺大観付録』14 1973
- 田中久夫 「仏教者としての叡尊」『奈良六大寺大観付録』14 1973
- 成田貞寛 「鎌倉期南都仏教教団の形成——西大寺叡尊をめぐる諸問題」『日本仏教学会年報』39 1973
日本仏教学会編『仏教教団の諸問題』（平楽寺書店，1974）として再録
- 川勝政太郎 「大蔵派石大工と関係遺品」『史迹と美術』449 1974
- 清水俊明 「大和額安寺の宝篋印塔」『史迹と美術』446 1974
- 成田貞寛 「鎌倉期南都仏教における太子信仰——西大寺叡尊を中心として——」井川定慶博士喜寿記念会編『日本文化と浄土教論攷』所収，井川博士喜寿記念会出版部刊 1974
- 前田元重 「清涼寺式釈迦如来像現存表」『金沢文庫研究紀要』11 1974
- 守屋 茂 「僧叡尊の網代停止と宇治橋の再興」『南都仏教』32 1974
- 和島芳男 「叡尊と忍性——中世戒律復興運動の二形態——」『史迹と美術』443 1974
- 今井雅晴 「日蓮・一遍および叡尊——鎌倉後期の仏教をめぐる——」中尾堯編『日蓮宗の諸問題』所収，雄山閣出版 1975
- 川添昭二 「鎌倉時代の対外関係と文物の移入」岩波講座『日本歴史』6 1975
- 永井則男 「丹後国分寺建武再興金堂の成立背景」檀原考古学研究所編『檀原考古学研究所論集 創立三十五周年記念』所収，吉川弘文館 1975
- 日置孝彦 「忍性の浄土教思想に関する一資料——「画西方浄土記」の問題をめぐる——」『金沢文庫研究』225 1975
- 上田さち子 「叡尊と大和西大寺末寺」大阪歴史学会編『中世社会の成立と展開』所収，吉川弘文館 1976
- 大山喬平 「中世の身分制と国家」岩波講座『日本歴史』8 岩波書店

- 1976
- 同氏著『日本中世農村史の研究』所収（岩波書店，1978）
- 佐藤行信 「忍性について」『宗教研究』230 1976
- 野村 隆 「常陸三村寺五輪塔」『史迹と美術』464 1976
- 長谷川嘉和 「生駒竹林寺の開創伝承考証」竹田聰洲博士還暦記念会編『日本宗教の歴史と民俗』所収，隆文館 1976
- 日置孝彦 「叡尊における浄土教義の受容（上下）——梵網經古迹記輔行文集を中心として——」『金沢文庫研究』240，242・243 合併号 1976～77
- 八尋和泉 「筑前飯盛神社神宮寺文殊堂文殊菩薩騎獅像および豊前大興善寺如意輪観音像について——九州西大寺末寺の仏像新資料二例——」『九州歴史資料館研究論集』2 1976
- 和島芳男 「極楽寺の縁起と忍性」『金沢文庫研究』248 1977
- 吉田文夫 「叡尊の戒律と慈善救済」長谷川よし子編『仏教と社会福祉のあいだ』所収，長谷川仏教文化研究所 1977
- 太田順三 「西大寺の領域的支配の確立と絵図」竹内理三博士古稀記念会編『続荘園制と武家社会』所収，吉川弘文館 1978
- 川添昭二 「時宗・律宗・日蓮宗の展開」西垣晴次編『地方文化の日本史』第3巻所収，文一総合出版 1978
- 高木 豊 「中世初頭南都仏教研究小史(上)」『日本宗教史研究年報』1，佼成出版社 1978
- 田辺久子 「室町幕府禅律方に関する一考察」『三浦古文化』23 1978
- 平岡定海 「南都寺院の復興とその文化」西垣晴次編『地方文化の日本史』第3巻所収，文一総合出版 1978
- 三浦圭一 「鎌倉時代の開発と勧進」『日本史研究』195 1978
- 同氏著『中世民衆生活史の研究』所収（思文閣出版，1981）
- 綾仁重次 「鎌倉幕府と寺社——関東御祈祷所をめぐる——」『国史談話会雑誌』20 1979
- 大石雅章 「中世大和の寺院と在地勢力——西大寺を中心として——」

- 『ヒストリア』85 1979
- 小野塚充巨 「中世律僧に関する一視点——叡尊を中心に——」『鎌倉遺文』
月報17 1979
- 平林恵昭 「鎌倉期における旧仏教の動向(第1報)——律僧忍性を中心
として——」『大阪女子学園短期大学紀要』23 1979
- 大石雅章 「中世西大寺の寺院組織について——律家と寺僧の役割を中
心に——」『待兼山論叢』14 1980
- 小島恵昭 「聖徳太子遺跡寺院における復興勸進」『東海仏教』25 1980
- 田岡香逸 「石大工心阿とその系譜(上下)」『史迹と美術』504・505
1980
- 辻富美雄 「叡尊における石塔勸進考」『佛教大学大学院研究紀要』8
1980
- 武笠 朗 「西大寺四王堂十一面観音像について」『美術史』120 1980
- 堤 禎子 「常陸における無住の師について」『茨城史林』9 1980
- 日野一郎 「奈良西大寺系の石大工」 滝口宏先生古希記念考古学論集編
集委員会編『古代探叢』所収, 早稲田大学出版部 1980
- 平林恵昭 「鎌倉期における旧仏教の動向(第2報)——律僧忍性を中心
として——」『大阪女子学園短期大学紀要』24 1980
- 石井 進 「都市鎌倉における「地獄」の風景」 御家人制研究会編『御
家人制の研究』所収, 吉川弘文館 1981
- 石田雅彦 「『関東往還記』に云う“儲茶”について」『茶湯』17 1981
- 上田さち子 「多数作善と鎌倉仏教——日蓮の浄土教・律批判をめぐって
——」『社会科学論集』11・12 合併号 1981
- 河合正治 「西大寺流律宗と瀬戸内」『日本歴史』392 1981
- 高木 豊 「中世初頭南都仏教研究小史(中)」『日本宗教史研究年報』4,
佼成出版社 1981
- 小島恵昭 「南都戒律復興の歴史的背景——如法受具成立の前史として
——」『同朋学園仏教文化研究紀要』3 1981
- 堤 禎子 「無住と常陸「北ノ郡」」『日本仏教史学』17 1981

- 野村 隆 「伊派遺品の傾向と大蔵派宝篋印塔」『史迹と美術』519
1981
- 平林恵昭 「鎌倉期における旧仏教の動向（第3報）——律僧忍性を中心として——」『大阪女子学園短期大学紀要』25 1981
- 横井 清 「忍性——非人・癩者に直面しつづけた律宗僧——」同氏著『中世を生きた人びと』所収，ミネルヴァ書房 1981
- 岡見正雄 「文観上人」同氏校注『太平記（二）』補注12-9 角川書店
1982
- 石井 進 「中世都市としての鎌倉」石井進・佐々木潤之介編『新編日本史研究入門』所収，東京大学出版会 1982
- 河合正治 「西大寺流律宗と瀬戸内」『シンポジウム中世の瀬戸内』下，所収，山陽新聞社 1982
- 松井輝昭 「西大寺律宗展開の問題——瀬戸内海地方を中心に——」『芸備地方史研究』138 1982
- 三浦圭一 「技術と信仰」三浦圭一編『技術の社会史』第1巻所収，有斐閣 1982
同氏著『日本中世賤民史の研究』所収（部落問題研究所，1990）
- 湯山 学 「北条氏と律宗（北京律）——覚園寺開山智海心慧を中心に——」『鎌倉』40 1982
- 上田純一 「蒙古襲来のなかで生きた僧侶たち——日蓮・叡尊・一遍・忍性——」『歴史公論』87 1983
- 北村 稔 「鎌倉の『やぐら』発生に関する私見」『史迹と美術』532・533 1983
- 益田兼房 「中世の建築技術」永原慶二・山口啓二編『講座・日本技術の社会史』7 建築 所収，日本評論社 1983
- 守屋 茂 「宇治塔島十三重石塔刻文の解読について」『史迹と美術』532 1983
- 湯山 学 「伊豆・箱根（二所）の地獄谷と鎌倉極楽寺忍性」『鎌倉』42 1983

- 青木忠洋 「中世律宗の時機観——叡尊・忍性を中心として——」『日本仏
教学会年報』49 1984
- 安藤孝一 「額安寺五輪塔納置の骨蔵器」『月刊文化財』255 1984
- 小野塚充巨 「中世鎌倉極楽寺をめぐる」竹内理三先生喜寿記念論文集
刊行会編『荘園制と中世社会』所収，東京堂 1984
- 三浦圭一 「中世の土木と職人集団」永原慶二・山口啓二編『講座・日本
技術の社会史』6 土木 所収，日本評論社 1984
同氏著『日本中世の地域と社会』所収（思文閣出版，1993）
- 今井雅晴 「『関東往還記』および同前記」『日本仏教史学』20 1985
- 大石雅章 「禅・律・浄土の興隆と葬祭の変化——王家の葬祭を中心とし
て——」昭和59年度科学研究費補助金研究成果報告（研究代
表黒田俊雄）『中世寺院組織の研究』所収 1985
- 太田順三 「中世の民衆救済の諸相——橋勧進・非人施行・綴法師——」
民衆史研究会編『民衆生活と信仰・思想』所収，雄山閣出版
1985
- 小山靖憲 「中世賤民論」日本史研究会・歴史学研究会編『講座日本歴
史』4 所収，東京大学出版会 1985
- 鷺塚康光 「興正菩薩叡尊とその美術」『月刊文化財』260 1985
- 藤原良章 「中世前期の病者と救済——非人に関する一試論——」『列島
の文化史』3 1985
同氏著『中世的思惟とその社会』所収（吉川弘文館，1997）
- 高橋秀栄 「思円房叡尊と羅漢信仰」『金沢文庫研究』276 1986
- 橋口定志 「上行寺裏山遺跡（境内地区）調査の成果」関東学院大学『文
学部紀要』48 1986
- 細川涼一 「天皇と仏教——鎌倉末から南北朝期の天皇と律僧を中心に
——」現代のエスプリ別冊『天皇制の原像』所収，至文堂
1986
- 山中 裕 「金沢文庫と八景の歴史的意義——上行寺東遺跡との関係を
みる——」関東学院大学『文学部紀要』48 1986

- 阿部泰郎 「中世南都の宗教と芸能——信如尼と若宮拝殿巫女をめぐる
て——」『国語と国文学』64-5 1987
- 伊藤正敏 「地域社会と禅律僧——紀伊国和佐荘の鎌倉末——」『日本歴
史』475 1987
- 大石雅章 「非人救済と聖朝安穩——律僧叡尊の宗教活動——」黒田俊
雄編『国家と宗教〈大系仏教と日本人2〉』所収，春秋社
1987
- 金森 勉 「叡尊の戒律復興——特に自誓受戒について——」『大正史学』
17 1987
- 斎藤彦司 「駿州靈山寺と石像遺品」『三浦古文化』41 1987
- 高橋秀栄 「『関東往還記』について」『印度学仏教学研究』35-2 1987
- 西山 徳 「神社・仏寺の鎮座地について——叡尊の般若寺観をめぐる
——」皇学館大学『史料』87 1987
- 細川涼一 「中世律宗と国家——鎌倉末期の政治・社会状況の中で——」
『日本史研究』295 1987
- 保立道久 「上行寺東遺跡について」『歴史科学と教育』6 1987
- 前園実知雄 「墓所にみる忍性の思想的背景」森浩一編『考古学と地域文
化〈同志社大学考古学シリーズ3〉』所収，同志社大学考古学
シリーズ刊行会 1987
- 湯山 学 「駿河国木瀬河・沼津と靈山寺——京・鎌倉往還の渡津と律
僧・律寺——」『地方史静岡』15 1987
- 網野善彦 「金沢氏・称名寺と海上交通」『三浦古文化』44 1988
- 綾村 宏 「鎌倉中期の西大寺について——「西大寺寺領検注帳」と「西
大寺三宝料田畠目録」からみて——」中世寺院史研究会編
『中世寺院史の研究』下 所収，法蔵館 1988
- 内田啓一 「西大寺叡尊及び西大寺流の文殊信仰とその造像」『美術史研
究』26 1988
- 大石雅章 「顕密体制内における禅・律・念仏の位置——王家の葬祭を通
じて——」中世寺院史研究会編『中世寺院史の研究』上 所

- 収, 法蔵館 1988
- 佐々木令信 「『花園天皇日記』 仏教総索引並に解説」 中世寺院史研究会編
『中世寺院史の研究』下 所収, 法蔵館 1988
- 砂川 博 「楠正成譚と中世律僧」 北九州大学『文学部紀要』39 1988
- 高橋秀栄 「北条実時と思円房叡尊」 『印度学仏教学研究』37-1 1988
- 山下 立 「叡尊の諸信仰と石像美術」 『龍谷大学大学院研究紀要——人文科学——』8 1988
- 阿部泰郎 「宝珠と王権——中世王権と密教儀礼——」 岩波講座東洋思想第16『日本思想』II所収, 岩波書店 1989
- 上野勝久 「鎌倉時代の極楽寺関係指図の堂」 『金沢文庫研究』282 1989
- 橋本義彦 「忍性の3つの舍利瓶」 『日本歴史』488 1989
- 細川涼一 「西琳寺惣持と尼——中世律宗と「女人救済」——」 大隅和雄・西口順子編『救いと教え〈シリーズ女性と仏教二〉』所収, 平凡社 1989
- 三輪嘉六 「忍性墓の三題——極楽寺・額安寺・竹林寺——」 『仏教芸術』182 1989
- 目方郁江・上田さち子 「中世三輪の宗教的特質」 大阪府立大学『歴史研究』27 1989
- 横井 清 「賤視と救済」 宮田登編『性と身分〈大系仏教と日本人8〉』所収, 春秋社 1989
同氏著『光りあるうちに』所収(阿吽社, 1990)
- 磯部幸男 「中田池A地点第1号窯出土の陶硯」 武豊町教育委員会編『中田池古窯址群〈武豊町文化財調査報告書第8集〉』第9章第1節 1990
- 川添昭二 「南北朝期博多文化の展開と対外関係」 平成元年度科学研究費補助金研究成果報告書〈研究代表川添昭二〉『地域における国際化の歴史的展開に関する総合研究——九州における——』所収 1990
- 沢 博勝 「西大寺流の組織化と勢力拡大——叡尊の諸活動の再検討を

中世西大寺流関係文献目録稿（追塩）

- 中心に——』『日本歴史』503 1990
- 沢 博勝 「西大寺流による道明寺の「復興」について——道明寺天満宮所蔵の一史料並びに道明寺縁起の検討——」『ヒストリア』127 1990
- 永島福太郎 「叡尊上人と茶」『近畿文化』490 1990
- 西山 厚 「興正菩薩叡尊700年遠忌「西大寺展」によせて——西大寺と叡尊——」『月刊文化財』324 1990
- 福島金治 「金沢文庫の叡尊・忍性関係資料について」『MUSEUM』474 1990
- 細川涼一 「叡尊の貧民救済について」『大法輪』57-9 1990
- 松尾剛次 「鎌倉新仏教教団をつくった叡尊」『大法輪』57-9 1990
- 上川通夫 「中世西大寺流の宗教構造」『立命館文学』521 1991
- 苅米一志 「東山太子堂の開山は忍性か」『鎌倉』67 1991
- 川添昭二 「日蓮と極楽寺流北条氏」『法華』77-9 1991
- 杉山二郎 「興正菩薩叡尊の今日的意義」『大法輪』58-10 1991
- 堤 禎子 「常陸・北下総における律宗教団の痕跡」『鎌倉』66 1991
- 松尾剛次 「北条時頼と叡尊」『大法輪』58-5 1991
- 吉岡康暢 「刻銘を有する中世陶器」『国立歴史民俗博物館研究報告』36 1991
- 市川浩二 「「異国降伏・聖朝安穩」——『八幡愚童訓』によって——」『神道及び神道史』50 1992
同氏著『日本中世の光と影』所収（1999，ぺりかん社）
- 堤 禎子 「中世地藏信仰のトポス（上下）」『月刊百科』355・356 1992
- 富村孝文 「中世南都の釈迦信仰」『琉球大学法文学部紀要』史学・地理学編35 1992
- 前園実知雄 「生駒山竹林寺と行基の墓」 森浩一編『考古学と生活文化〈同志社大学考古学シリーズ5〉』所収，同志社大学考古学シリーズ刊行会 1992
- 八田達夫 「架橋と造仏——主に泉橋をめぐる事項について——」『国史

- 学研究』18 1992
- 伊藤 聡 「伊勢の神道説の展開における西大寺流の動向について」『神道宗教』153 1993
- 上田純一 「東福寺と西大寺——治病文殊信仰をめぐって——」『日本歴史』537 1993
- 曾根正人 「中世初期戒律復興運動の戒律観とその背景——古代戒律史への序章——」笹山晴生先生還暦記念会編『日本律令制論集』下巻所収, 吉川弘文館 1993
- 同氏著『古代仏教界と王朝社会』所収(吉川弘文館, 2000)
- 松尾剛次 「叡尊・忍性の社会救済事業を追う」峰岸純夫・池上裕子編『新視点 日本の歴史』4 中世編所収, 新人物往来社 1993
- 湯浅治久 「六浦上行寺に関する新資料——多古町正覚寺蔵『立正安国論』・『観心本尊抄』奥書——」『六浦文化研究』4 1993
- 糸賀茂男 「忍性が開いた寺 三村寺」石井進他編『中世の風景を読む』2所収, 新人物往来社 1994
- 内田啓一 「西大寺叡尊とその周辺」町田市立国際版画美術館編『大和路の仏教版画』所収, 東京美術 1994
- 苅米一志 「西大寺叡尊の殺生禁断活動について」『史潮』新35 1994
- 杉山二郎 「鎌倉新仏教と密教——重源から忍性へ——」『密教学研究』26 1994
- 服部了潤 「中世律宗の歴史的意義についての一考察」『南都仏教』70 1994
- 松尾剛次 「戒律と鎌倉新仏教」『春秋』357 1994
- 馬淵和雄 「武士の都 鎌倉——その成立と構想をめぐって——」石井進他編『中世の風景を読む』2所収, 新人物往来社 1994
- 森 茂暁 「鎌倉末期・建武新政期の長門国分寺」『山口県史研究』2 1994
- 吉原健雄 「叡尊における僧尼国王不拜論」『文芸研究』135 1994
- 追塩千尋 「平安・鎌倉期広隆寺の諸相」佐伯有清先生古希記念会編『日

- 本古代の祭祀と仏教』所収，吉川弘文館 1995
- 斎藤道子 「中世前期鎌倉の海岸線と港湾機能」 峰岸純夫・村井章介編
『中世東国の物流と都市』所収，山川出版社 1995
- 仲 芳人 「生駒市竹林寺の結界石についての私見」『史迹と美術』658
1995
- 牧 伸行 「叡尊と『聖徳太子講式』」『元興寺文化財研究』53 1995
- 馬淵和雄 「浜と板碑 — 五所神社蔵弘長二年銘板碑の意味 —」 能蔵
寺跡発掘調査団編『神奈川県鎌倉市能蔵寺跡 — 材木座五所
神社境内所在遺跡の発掘調査 —』所収，鎌倉市教育委員会
1995
- 桃崎裕輔 「宍塚般若寺と律僧の往来 — 中世霞ヶ浦沿岸の律宗寺院に
関する小考 —」『常総の歴史』15 1995
- 石川力山 「日本中世仏教における釈迦信仰の系譜 — 穢土成仏の周辺
—」『宗教研究』307 1996
- 牛山佳幸 「中世律宗の地域的展開 — 信濃国の場合 —」『信濃』48-9
1996
- 小林茂文 「古代・中世の「癩者」と宗教 — 差別と救済 —」 藤野豊編
『歴史のなかの「癩者」』所収，ゆみる出版 1996
- 中山文人 「中世の過去帳について — 『本土寺過去帳』研究の前提とし
て —」『松戸市立博物館紀要』3 1996
- 東島 誠 「中世神泉苑と律宗長福寺 — 都城の《結界》性とそれを掘り
崩すもの —」『年報中世史研究』21 1996
- 樋口大祐 「中世律宗と『平家』 — 法華寺・般若寺・東大寺油倉をめぐっ
て —」『文学』7-2 1996
- 松尾剛次 「叡尊の思想と教団 — 後期院政期における遁世僧教団の活
動 —」平成7年度科学研究費研究成果報告書〈速水侑研究代
表〉『古代から中世への転換期における仏教の総合的研究』所
収 1996
- 松尾剛次 「中世仏教史のテキスト学 — 叡尊教団を手がかりとして

- 」『日本の仏教』5, 法蔵館 1996
- 箕輪顕量 「鎌倉期律宗教団における入門システム」『大倉山夏季公開講座』V 1996
- 吉原健雄 「叡尊教団の変化——寺領の集積過程からみた中世西大寺——」『日本思想史学』28 1996
- 大石雅章 「尼の法華寺と僧の法華寺」西口順子編『仏と女〈中世を考える〉』所収, 吉川弘文館 1997
- 苅米一志 「遁世僧における顕密教の意義——廻心房真空の活動を例として——」『年報中世史研究』22 1997
- 藤井恵介 「称名寺結界絵図に描かれた建物群について——特に律院としての性格をめぐって——」『金沢文庫研究』298 1997
- 藤江久志 「中世の非人と癩者——御深草上皇七僧法会の記事をめぐって——」『御影史学論集』22 1997
- 馬淵和雄 「鎌倉大仏とは何か——北条執権政治の闇——」『大航海』14 1997
- 馬淵和雄 「得宗・大仏・都市——鎌倉大仏造立と都市経営——」『帝京大学山梨文化財研究所報告』8 1997
- 吉井敏幸 「行基信仰の成立と展開」井上薫編『行基事典』所収, 国書刊行会 1997
- 吉原健雄 「叡尊・八幡・蒙古襲来」玉懸博之編『日本思想史——その普遍と特殊——』所収, ペリかん社 1997
- 追塩千尋 「叡尊歿後の西大寺——二代長老信空とその周辺をめぐって——」速水侑編『院政期の仏教』所収, 吉川弘文館 1998
- 大石雅章 「中世南都律宗寺院と七大寺祈祷」大阪大学文学部日本史研究室編『古代中世の社会と国家』所収, 清文堂 1998
- 杉田暉道 「偉大な忍性の活動はなぜ長続きしなかったか」日本医史学会『神奈川地方会だより』7 1998
- 細川涼一 「南山城・河内の中世墓と律宗寺院」『関西近世考古学研究』VI 1998

- 松尾剛次 「叡尊の思想——西大寺叡尊像納入文書などを使って——」
市川裕・鎌田茂編『聖典と人間』所収，大明堂 1998
- 桃崎祐輔 「総州願成寺の探索——房総における西大寺流真言律寺院の
沿革小考——」『六浦文化研究』8 1998
- 吉井敏幸 「中世～近世の三昧聖の組織と村落——大和国の場合——」
『部落問題研究』145 1998
細川涼一編『三昧聖の研究』所収（碩文社，2001）
- 岩井憲照 「叡尊教団における戒律復興運動——菩薩戒受戒を中心に
——」大阪教育大学『歴史研究』36 1999
- 加賀元子 「新出西大寺蔵本写本『妻鏡』をめぐる」『国語国文』779
1999
- 坂田大爾 「播磨における西大寺流律宗の展開」上下 『歴史と神戸』
38-1・2 1999
- 堤 勝義 「中世の西大寺流律宗と非人——草戸千軒の再開発を例とし
て——」『人権と平和ふくやま』4 1999
同氏著『中世瀬戸内の仏教諸宗派』所収（探求社，2000）
- 内田啓一 「文観房弘真に関係する絵画二題——白鶴美術館蔵五字文殊
画像と尾道浄土寺蔵如意輪観音菩薩画像——」『南都仏教』
78 2000
- 内田啓一 「諸尊図造・陀羅尼等（九重守）について——西大寺本を中心
として——」『金沢文庫研究』305 2000
- 大石雅章 「興福寺大乘院門跡と律宗寺院——とくに律宗寺院大安寺を
通して——」『日本史研究』456 2000
- 中川登史宏 「和泉国・中世の久米多寺教学について」『日本文化史研究』
32 2000
- 細川涼一 「空中飛翔の夢——『感身学正記』訳注の周辺——」『月刊百科』
448 2000
- 内田啓一 「延文二年墨書銘のある木造聖観音菩薩坐像と像内納入品」昭
和女子大学『文化史研究』5 2001

大橋直義 「「嗣信最後」説話の享受と展開——屋島・志度の中世律僧唱
導圈——」『伝承文学研究』51 2001

内藤 榮 「西大寺鉄宝塔・五瓶舍利容器について」『仏教芸術』257
2001

3, 西大寺関係史料(含資料紹介・解説, 報告書)

『関東往還記』(『史籍雑纂』1に所収, 国書刊行会) 1911

『西大寺文書』(『大日本仏教全書』寺誌叢書2に一部収録, 仏書刊行会)
1913

『西大勅諭興正菩薩行実年譜』(本編のみ発行, 西大寺) 1915

『興正菩薩御教誡聴聞集』(『国文東方仏教叢書』第三に収録, 東方書院)
1925

辻善之助編 『慈善救済史料』金港堂 1932 (復刻1976)

『(校訂増補) 関東往還記』金沢文庫 1934

『金剛仏子叡尊感身学正記』(『思円上人一期形象記』, 橋本凝胤, 西大寺)
1939

永島福太郎 『大和古文書聚英』(西大寺, 額安寺文書の一部収録) 奈良県
図書館協会 1942

毛利 久 「西大寺の叡尊坐像に関する一資料」『史迹と美術』211 1951

金沢文庫 『金沢文庫古文書』1~14及び索引 1952~1964

小林 剛 「西大寺文殊菩薩像納入物」『大和文化研究』4 1954

毛利 久 「西大寺西僧房造営同心合力奉加帳」『大和文化研究』7 1954

『極楽律寺要文録』『金沢文庫研究紀要』1 1956

奈良国立文化財研究所編 『西大寺叡尊伝記集成』大谷出版社
1956 (復刻1977)

鈴木康子 『西大寺叡尊伝記集成索引』奈良国立文化財研究所 1956

熊原政男 「西大寺叡尊上人遷化之記并嘆徳記」『南都仏教』4 1957

鎌倉市史編纂委員会編 『鎌倉市史 史料編三・四(極楽寺文書)』吉川弘

- 文館 1958
 部落問題研究所編 『部落史に関する総合的研究』 史料第三 柳原書店
 1962
 柳沢文庫専門委員会編 『大和郡山市史』 史料集（額安寺文書収録） 大和郡
 山市役所 1966
 工藤良光校註 『西大勅諭興正菩薩年譜』 西大寺 1968
 奈良国立文化財研究所編 『西大寺関係史料(1) — 諸縁起・衆首交名・末寺
 帳 —』 1968
 奈良国立文化財研究所編 『西大寺関係史料(1)』 索引 1968
 西大寺 『興正菩薩御教誡聴聞集』 1968
 三山 進編 『鎌倉地方造像関係資料』 第1・第2集 鎌倉市教育委員会・
 鎌倉国宝館 1968
 納富常天 「金沢文庫蔵久米多寺関係資料について」 『金沢文庫研究』 164
 1969
 納富常天 「研究余滴 東大寺蔵西大寺関係資料」 『金沢文庫研究』 164
 1969
 神奈川県企画調査部県史編集室編 『神奈川県史』 資料編古代・中世(1)(2) (3
 上下) 神奈川県 1970~79
 鎌田茂雄・田中久夫 『鎌倉旧仏教（日本思想大系 15）』（『興正菩薩御教誡
 聴聞集』所収） 岩波書店 1971
 元興寺仏教民俗資料研究所編 『西大寺民俗資料緊急調査報告書』 元興寺仏
 教民俗資料研究所 1972
 出口常順・平岡定海編 『聖徳太子・南都仏教集〈仏教教育宝典2〉』 玉川
 大学出版部 1972
 『金剛仏子叡尊感身学正記』抄録, 「沙門忍性上奏文案」収録
 湯山賢一 「西大寺所蔵三月十九日付の叡尊書状について」 『三浦古文化』
 14 1973
 金沢文庫編 『金沢文庫資料全書』 1~10 金沢文庫（7巻以降は便利堂）
 1974~91

- 田中敏子 「忍性菩薩略行記(性公大徳譜)について」『鎌倉』22 1974
- 文化財建造物保存技術協会編『重要文化財 極楽寺忍性塔(五輪塔)保存
修理工事報告書』 極楽寺 1977
- 羽曳野市教育委員会『西琳寺跡範囲確認調査概要』I 1978
- 元興寺文化財研究所『般若寺民俗資料緊急調査報告書』 1979
- 元興寺文化財研究所『西大寺光明真言会の調査報告書』 1982
- 田中敏子 「忍性菩薩行実編年史料(1)~(8)・補遺」『鎌倉』44~52号
1983~86
- 奈良県文化財保存事務所編『重要文化財 額安寺五輪塔修理工事報告書』
奈良県教育委員会 1983
- 京都部落史研究所『京都の部落史3 史料古代中世』阿吽社 1984
- 原田伴彦編『編年差別史資料集成』古代中世編 全5巻 三一書房
1984~85
- 石川登志雄 「丹後国分寺建武再興縁起について」『郷土資料調査報告』5,
1984
- 檀原考古学研究所編『生駒市竹林寺忍性墓発掘調査概報』(『奈良県遺跡調
査概報1986年度』) 檀原考古学研究所 1987
- 部落問題研究所編『部落史史料選集』第1巻 部落問題研究所出版部
1988
- 山口県教育委員会編『周防国分寺歴史資料目録』山口県教育委員会
1988
- 石上英一研究代表『京畿内荘園のデータベース作成と歴史地理学的研究』
(昭和63年度科学研究費補助金研究成果報告書) 東京大学史料編纂所
1989
- 長谷川誠 「興正菩薩叡尊年譜(稿)」『芸叢』7 1989
- 元興寺文化財研究所『中世民衆寺院の研究調査報告書』I II III, 元興寺文
化財研究所 1990~92
- 長谷川誠『興正菩薩御教誡聴聞集・金剛仏子叡尊感身学正記』(読み下し・
口語訳・影印本) 西大寺 1990(補訂版, 1992)

- 奈良県教育委員会・奈良国立文化財研究所編『西大寺防災施設工事・発掘調査報告書』西大寺 1990
- 吉原健雄 「西大寺叡尊関連年譜」 1～3 『日本思想史研究』 24～26
1992～94
- つくば市教育委員会 『三村山極楽寺遺跡群所在石造五輪塔解体修理報告書』つくば市教育委員会 1994
- 佐伯俊源 「南都西大寺所蔵資料」『日本の仏教』 2，法蔵館 1995
- 松尾剛次 「西大寺叡尊像に納入された「授菩薩戒弟子交名」と「近住男女交名」」『南都仏教』 73 1996
- 吉田靖雄 「生駒山竹林寺縁起——付・良観上人舍利瓶記」井上薫編『行基事典』所収，国書刊行会 1997
- 稲城信子 『奈良市・西大寺所蔵典籍文書の調査研究』元興寺文化財研究所 1998
- 奈良県教育委員会事務局文化財保存課編『西大寺所蔵元版一切経調査報告書』奈良教育委員会 1998
- 細川涼一 『感身学正記（東洋文庫）』 1 平凡社 1999
- 大和郡山市教育委員会編『馬司遺跡第一次発掘調査報告書』大和郡山市教育委員会 2001